

## 2022年第2回定例会 一般質問②

### 市民が主役のまちづくりの実践のために

#### (1)市民参画の推進を

##### ア 「市民参加プログラム」の活用を

次に大項目の2つ目、市民が主役のまちづくりの実践について質問いたします。長友市長が初就任された2002年の12月、こちらにあります市民団体の会報誌の中で、市長は市政変革の理念をいくつか挙げていらっしゃいます。1つ目は「市民の声を反映する市民参加型の行政推進」、2つ目は「計画・立案・実施の中心的な役割は行政だけが果たすということではなく、市役所は市民のアイデアを実現するための機関だ、という行政の機能に対する意識変革」、つまり市民参画への展望を語っていらっしゃいます。

その2年後、市は市民の参加と協働についての取組みを示した「市民参加プログラム」を策定し、具体的な手法等を示した「市民参加手続きガイドライン」と「協働推進ガイドブック」を発行、毎年「市民参加・協働実践状況報告書」で各部署の取組みをまとめ、公表しています。

一方、市民が主役のまちづくりには、一般的な市民参加だけでなく、市長も目指された計画段階からの市民参画の推進が重要だと考えますが、この20年、市長が描かれたビジョンは職員や市民と共有され、「市民参加プログラム」の活用のもと、実現されてきたのでしょうか。総括と今後の展望についてお答えください。

##### イ 市民参加時期の適正化と情報公開の徹底について

2点目ですが、「市民参加プログラム」では、市民参加を取り入れなければならない施策・事業として「広く市民に適用され、市民生活に重大な影響を及ぼす制度」に関するものや、「大規模な公共施設の設置に係わる基本計画等の策定及び運営に関する方針の決定または変更」などを挙げています。また、「計画の構想段階から市民参加を行い、事業の進行管理から評価まで一貫して参加できるしくみが必要」とされており、それは、「変更がきかない状態となって初めて市民に公表するのでは（中略）行政に対する市民の不信感を生むことにつながりかねないからだ」と、構想段階からの市民参加の重要性についても書かれています。

一方、市民の反対の声は参加時期の早い、遅いにかかわらず起きる可能性はあります。台湾のデジタル担当大臣のオードリー・タンは、ある雑誌インタビューの中でこう述べています。「行政が信頼をすれば信頼を返してくれる市民もいる。一方で、行

政に対して説明を要求し、責任を追求しようとする市民もいる。しかし、そうやって政府を信頼できない市民が、政府の責任を追求したり、汚職がないことをチェックする役割を担っており、行政はこういった市民からは信頼を得られないとしてもメリットがあるのだ。だから行政が市民を信頼することが最も重要である。」

このような姿勢でまちづくりに取り組んだ例として、いま注目を集めているのが、世田谷区下北沢の線路跡地再開発です。反対住民の声を受け、世田谷区は反対住民と電鉄会社、行政の会議体を立ち上げ、活発な議論の中で対立を対話へと変化させ、魅力ある再開発を実現したと新聞でも取り上げられています。

調布市はどうでしょうか。市の方向性と異なる声を排除するかのようになり、市民の学習会の市報掲載を拒否したり、外環問題の対応においても行政が市民に不信感を抱き、丁寧な対話を怠り、個人情報を出し、不要な対立を招いています。市民の不信を招き、関係の修復につぎ込むために要する多くの労力や人材は、市民参画に注ぐことで建設的なまちづくりに繋がるのではないのでしょうか。

それには、市民への信頼にもとづき、特に注目度が高い事業では市民参画の時期を計画の初期段階へと適正化し、反対の声も含めて、多様な意見が出てくるよう、情報公開の基本を改めて徹底することが必要です。市の見解と今後の取組みへの展望をお答えください。

## ウ ファシリテーターの育成・登用で公共施設整備への市民参画の推進を

最後の質問です。市民参加、参画の基本は、行政と市民が対等の立場に立ち、互いの自主性を尊重しながら、相互理解や目的、情報を共有したうえで対話に努める、これに尽きます。そこで、特に公共施設の更新の際などは、ファシリテーターを担える職員の育成や、中立的な立場のファシリテーターの登用により、多様な市民が交流し、行政と市民、また市民同士がお互いの立場への理解を深め合い、建設的な議論を重ねることができるワークショップを取り入れ、市民参画の推進を求めます。見解をお答えください。

### <行政経営部答弁>

市民が主役のまちづくりの実践についてお答えします。

はじめに市民参加プログラムの活用についてです。市は、参加と協働によるまちづくりを市政経営の基本的な考え方の一つに据え、目的や内容に応じた適切な市民参加手法を組み合わせ実施するなど、市民参加プログラムに基づく実践を積み重ねる中

で、職員における意識の定着と合わせて取組みの拡充につなげて参りました。

その取組状況については、毎年、市民参加・協働実践状況報告書として取りまとめ、公開しているほか、庁内においては、市民参加推進協議会や市民参加推進研修等の機会を活用して好事例を共有することで、更なる取組みの推進につなげております。

また、コロナ禍以降は、オンラインを活用した手法も広がっていることから、引き続き、デジタル化への対応を含め、様々な手法の柔軟な活用に努めてまいります。

次に、市民参加の時期と情報公開についてです。市が取り組む施策、事業において、より多くの市民の参加を得るとともに、様々な視点からのご意見をいただき、市政運営に活かすため、可能な限り構想段階から、必要な情報提供とあわせて、市民参加の機会を設ける必要があると考えております。その一例として、昨年度から取り組んでいる次期基本構想の策定においては、検討の初期段階から基本構想策定推進市民会議を立ち上げ、分科会での意見交換などを通じて、市民意見を把握することにとどまらず、検討過程において、市民がより主体的に参画する取組を進めているところです。他方、どの時点において市民の参加を得るのかを一律に定めることは困難であることから、今後もそれぞれの施策等の内容に応じて、適切な市民参加の時期を見定めながら取り組む必要があると考えております。

なお、情報公開については、調布市自治の理念と市政運営に関する基本条例において、市政運営の基本原則の筆頭に位置づけていることを踏まえ、引き続き、適切な対応に努めてまいります。

最後に、ファシリテーターの育成・登用による公共施設整備への市民参画の推進についてです。市民参加プログラムでは、市民参加の対象事業の一つとして、大規模な公共施設の設置に係わる基本計画等の策定および運営に関する方針の決定または変更を位置づけております。そのため、公共施設の整備においても、その内容に応じた市民参加手続を実践しております。

ファシリテーターの活用は、会議を円滑に進めるに当たっての有効な手段の一つであると認識しており、市職員における知識や手法の習得を目的に、毎年度、庁内での研修を実施しているところです。

引き続き、市民参加プログラムに基づき、多様な市民参加手続の実践を重ねつつ、施策等の内容や検討の段階を見定めながら、適切な市民参加手法を用いる中で、様々な機会を捉えて、ファシリテーターと合わせたワークショップ形式などの活用の推進に努めて参ります。

## <再質問>

御答弁ありがとうございました。一番最初の質問に対して、市長にもぜひ、20年の総括ですね。市長に就任されたときに抱いていらした市民参画というビジョン、この20年でどのように推進してこられたか、総括を伺いたいと思いますので、よろしくお願いたします。再質問させていただきます。

## <市長答弁>

今、行政経営部長が概要を答弁させていただきましたけれども、過去の様々な重要課題について、施策ごとに、また、今まきに行っている次期計画づくりのような大きな総合計画についても、いろんな手法を用いて市民の方の御意見を伺ってきて、それをこれからも、もちろん継続してまいる、そういう決意でございます。

それから、それ以外に、年間何回かにわたって、項目を設けずに、絞らずに様々な層の市民の方から御意見を伺い市政に生かさせていただいているわけですが、そのような場もこれからも堅持してまいりたい、そのような各層からの市民の皆様の意見を大事にさせていただくことを続けてまいりたいと思っております。

## 【まとめ】

ありがとうございました。市長は次の4年間にも続投の意思を示されているということで、今、そこへの展望、思いも語っていただいたのかなと思いますけれども、調布駅前広場整備や総合福祉センターの移転など、市民側から不満の声も上がる中、当初掲げていらしゃった市民参画に十分取り組んだ結果だというふうに総括していらしゃるのか、疑問に思うのは私だけではないと思います。

御答弁の中では、目的や内容によって適切な市民参加手法を選択しているということでしたが、市民がまちづくりの主役だと市が自ら掲げているわけですから、市民参加手法が適切かどうかを評価すべきは市民側だと考えます。

国土交通省が公表している地方自治体による公共施設の設計者選定状況によりますと、入札が最多で72%で多いんですけれども、プロポーザル方式も23%あります。プロポーザル方式において、例えば設計者をファシリテーターとした市民ワークショップを取り入れることで、幅広い意見の合意形成過程に設計者が直接関わり、市民が参画を実感できる取組となるのではないのでしょうか。市民と行政で市民参画の成功体験をこれから共有し、市の財産として蓄積していくためにも、行政がまず市民を信頼し、今後の公共施設更新等の際には思い切った市民参画の新しい取組を導入されるように期待をいたしまして、私の一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。